

「石清水八幡宮と八幡市散策」ご案内

企画委員会

八幡市は三川合流の地形を有する 国内で他にほとんど例を見ない地域です。
今回はその南側に位置する神と仏が鎮座する男山に国家鎮護の神として八幡神をお祀りした
石清水八幡宮を参詣します。国宝に指定された壮大な八幡造りの本殿をはじめ、クスノキなど照葉樹林や
竹林に囲まれた境内を散策できるのも魅力です。また東高野街道沿いには、趣ある木橋、安居橋や
ライト兄弟よりも先に飛行原理を発見していた二宮忠八創建の飛行神社があり、資料館もあります。
その偉業と二宮忠八翁自身の人生には驚きとともに、魅力を感じていただけるのではないかと思います。
エジソンとの関りなど、意外な魅力を秘めた八幡市のご案内企画です。

記

実施日：2019 年 4 月 26 日（金）

前日 17 時以降の天気予報 午前・午後どちらかの降水確率 50%以上で中止。

集合時間・場所：10:00 京阪八幡市駅

（ボランティアガイドさん 4 名と待ち合わせ）

見学コース 10:15 男山ケーブルで山頂へ→石清水八幡宮 ※① 昇殿参拝（約 40 分 希望者のみ）→エジソン記念碑→昼食→石清水社→泉坊・松花堂跡→高良社→五輪塔→安居橋→※②飛行神社（各班毎に解散）・資料館見学はオプション
ケーブル乗車券は団体一括購入（補助金）下りのみの為、らくらくコースの設定はなし。

参加費 ¥1,000（石清水八幡宮昇殿参拝希望者のみ）事前徴収します。
希望しない場合は 参加費無料

※① 本殿昇殿参拝について

- ・希望者のみ、有料（¥1,000 個人負担）
- ・参拝後、神職による由緒説明や社殿内部案内（約 40 分～60 分 30 人以上の場合2グループ）
- ・参拝は椅子を使用。正座はなし。

昇殿参拝を希望しない人には ボランティアガイドによる本殿周囲の説明あり。本殿前で合流。

※② 飛行神社について

神社の前で説明を聞いた後、各班毎に解散。

資料館（9 時～16 時）・・・解散後各自自由に入館。（¥300 個人負担）

持物： お弁当、飲物、雨具 他

以上

国宝石清水八幡宮

平成 28 年に八幡造りの本殿など本社 10 棟 附(つけたり)棟札 3 枚が国宝に指定されました。八幡宮が鎮座する場所は、平安京の裏鬼門にあたる男山。平安時代前期の 859 年、僧侶・行教が宇佐八幡宮で神託を受け、男山に国家鎮護の神として八幡神を祀ったことが起こります。日本三大八幡宮の一つであり、伊勢神宮に次ぐ国家第二の宗廟と称されてきました。

本殿

桁行十一間の内殿と外殿を前後に並べて複合させた八幡造本殿で、国内の同形式の本殿の中では現存最古で最大の規模です。長大な本殿と幣殿及び舞殿を瑞籬や回廊で囲み一体化した構成は、古代に成立した荘厳な社殿形式を保持しつつ、近世的な装飾を兼備した完成度の高い建築物です。



楼門の正面、簷股部分に一对の向かい合う鳩の銚金具があり、狛犬と同様に阿吽の呼吸で右側が口を開けています。また、その上には極彩色の龍虎の欄間彫刻が施されており、四神の配列から見ると逆に配置されています。社殿を修造した徳川家光公の干支が辰、家康公が虎であったため、龍を下位(西)に置いたともいわれています。



内殿と外殿の「相の間」に架かる織田信長公寄進の通称「黄金の雨樋」。当宮に有事が起こった際には 換金し対処するようにとの配慮があったと伝えられています。

石清水社

男山の中腹に位置し、社号の由来となった霊泉「石清水」が湧いています。石清水八幡宮の創建よりも古い歴史を持つ霊地。

松花堂跡

江戸時代初期、松花堂昭乗が営んだ草案跡。神仏習合の時代には多くの僧房が敷地内にあり、昭乗は瀧本坊の住職でした。後年、泉坊の一角に草案を結び「松花堂」と称しました。明治の神仏分離令後山麓に移築され、現在の松花堂庭園は八幡市の所有となり、管理運営されています。

エジソン記念碑

発明王トーマス・アルバ・エジソンが、八幡の竹を使って白熱電球の実用化に成功したことを記念し建立されました。エジソンは白熱電球の点灯時間を飛躍的に延ばすため、動植物等あらゆる材料を使って実験を繰り返しました。そんな折、日本からのお土産として研究所にあった扇子を見つけ、その骨を使って電球を試作してみました。すると電球の寿命は飛躍的に延びました。その扇子の骨こそが竹であったのです。竹は繊維が太く丈夫で、長持ちするフィラメントを作るのに最適でした。そして世界各国に竹を求めることになり、最終的に男山付近で採集された真竹が最高の竹であることを発見。驚くべきことに その竹は約 1,000 時間も明かりをともし続けたのです。以来、男山の竹はセルロースのフィラメントにとってかわられる 1894 年までの約 10 年間、八幡竹(はちまんだけ)」の名で、エジソン電灯会社に輸出され、何百万個の馬蹄型フィラメントの白熱電球が作られ、全世界に明かりを灯し続けました。

飛行神社と資料館

当神社は大正 4 年(1915 年)に日本で最初に動力飛行機を飛ばした二宮忠八により、自宅内で私財を投じて創建されました。現在の建物は平成元年に飛行原理発見 100 年を記念し、次男健次郎によって建て替えられました。1 つの棟に3つの社殿があり、右は航空殉難者並びに先覚者をお祀りする祖霊社、左の薬光神社には、忠八翁に所縁ある製薬業界の方々をご祭神としてお祀りしています。

二宮忠八は、固定翼で滑空するカラスの姿に興味を抱き観察を始めました。これが飛行原理の発見となります。研究を重ね、1891 年、ゴム動力を使った「カラス型飛行器」、次に人の乗れる「玉虫型飛行器」を考案 1893 年には設計図を完成させます。
日清戦争出兵の後、研究を研究を続けるべく資金を貯めるため、大阪製薬会社に職工として入社。伯父の薬種商を手伝っていた経験から多くの品質の良い薬品を製造、会社の発展に尽力します。功績が認められ 資金を貯めると京都府八幡に土地を求め、飛行機製造工場を立ち上げて研究をはじめますが、1903 年、ライト兄弟が飛行に成功したという情報に接し、無念の涙で制作をあきらめます。後年、空や飛行機を絵描き、多くの詩を書き残しました。それらは幡詞、幡画と呼ばれ芸術作品となり残っています。
資料館では二宮忠八の飛行器設計図や若いころ制作していた ユニークな凧などを展示しています。



エジソン記念日と男山の竹



玉虫型飛行器

石清水八幡宮周辺マップ

至 京都
至 大阪
至 淀屋橋

府道京都守口線

市営 駐車場

観光案内所

八幡市駅

朝日屋

やわた走井餅老舗

飛行神社

神應寺 航海記念塔

淀屋辰五郎の墓

高良神社

男山ケーブル

男山展望台

男山山上駅

石清水八幡宮

石清水社

松花堂跡

相槌神社

二ノ鳥居

表参道

善法律寺

安住橋

さざなみ公園

淀屋辰五郎邸跡

単伝庵(らくがき寺)

志ばん宗

八幡小

市民図書館

馬場市民公園

東高野街道

巡検道

国分橋の古跡

走止り

●亀屋芳邦

志水公民館

正法寺

男山中

八幡警察署

八幡市役所

八幡市文化センター

商工会館

エジソン記念碑

男山レクリエーションセンター

杉山谷不動尊

サイクリングロード

至 松花堂庭園・美術館

至 国道1号

0 500m

航海記念塔

エジソン記念碑

秋には見事な紅葉を見ることができる「神應寺」

松花堂昭乗や瀧本坊歴代の墓所がある「泰勝寺」

「らくがき寺」とも呼ばれる「単伝庵」

